

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 9 月 7 日 (2006.9.7)

【公表番号】特表 2005-526976 (P2005-526976A)

【公表日】平成 17 年 9 月 8 日 (2005.9.8)

【年通号数】公開・登録公報 2005-035

【出願番号】特願 2004-507778 (P2004-507778)

【国際特許分類】

G 0 1 J 1/00 (2006.01)

G 0 1 J 1/04 (2006.01)

G 0 2 B 5/22 (2006.01)

G 0 2 B 5/28 (2006.01)

G 0 1 J 3/51 (2006.01)

【F I】

G 0 1 J 1/00 G

G 0 1 J 1/04 B

G 0 2 B 5/22

G 0 2 B 5/28

G 0 1 J 3/51

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 7 月 18 日 (2006.7.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ディテクターと併用するのに好適なフィルターであって、

近赤外波長の帯域にわたり法線入射光を実質的に反射しかつ可視波長にわたり法線入射光を実質的に透過する干渉素子と、

可視波長にわたり非一様に光を吸収する吸収素子と、を備え、

ここで、該吸収素子は、高分子マトリックス中に分散された着色剤を含み、

該ディテクターと組み合わせたときに、相対応答がヒトの眼の視覚応答とほぼ同じであるディテクターシステムを生成するフィルター。

【請求項 2】

前記着色剤が、少なくとも 1 種の顔料を含む、請求項 1 に記載のフィルター。

【請求項 3】

請求項 1 に記載のフィルターをディテクターと組み合わせて備える、ディテクターシステム。

【請求項 4】

フィルターフレームをさらに備え、かつ前記干渉素子が、該フィルターフレームに連結される、請求項 3 に記載のディテクターシステム。

【請求項 5】

ディテクターと併用するのに好適なフィルターを作製する方法であって、

近赤外波長の帯域にわたり法線入射光を反射しかつ可視波長にわたり法線入射光を実質的に透過する干渉素子を提供することと、

可視波長にわたり非一様に光を吸収する吸収着色剤を樹脂中に充填することと、

該樹脂を造形して吸収素子を形成することと、

該干渉素子と該吸収素子とを組み合わせることでフィルターを提供することと、

を含み、

該フィルターが、該ディテクターと組み合わせたときに、法線入射光に対する相対応答がヒトの眼の視覚応答とほぼ同じであるディテクターシステムを生成する方法。

【請求項 6】

前記樹脂のフィルムを基材上に形成することを含む、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

前記干渉素子をフィルターフレームに連結することを含む、請求項 5 に記載の方法。